



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月23日

上場会社名 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 上場取引所 東
コード番号 8060 URL <https://canon.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足立 正親
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 白根 昭宏 (TEL) 03-6719-9074
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	157,226	1.6	13,808	△9.7	13,968	△9.4	9,523	△8.9
2023年12月期第1四半期	154,825	5.0	15,285	3.3	15,423	5.1	10,450	4.1

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 9,879百万円(△7.9%) 2023年12月期第1四半期 10,724百万円(29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	73.44	73.42
2023年12月期第1四半期	80.59	80.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	563,924	436,313	77.2	3,358.12
2023年12月期	557,366	435,509	78.0	3,352.30

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 435,474百万円 2023年12月期 434,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年12月期の中間配当金については、2024年12月期の第2四半期累計期間の業績予想を作成しておりませんので未定です。また、2024年12月期の期末配当金については、年間配当金から中間配当金を差し引いた金額となります。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	645,000	5.8	54,000	2.9	55,000	2.6	37,500	2.8	289.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	131,079,972株	2023年12月期	131,079,972株
2024年12月期1Q	1,402,185株	2023年12月期	1,401,615株
2024年12月期1Q	129,677,969株	2023年12月期1Q	129,676,228株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はさまざまな要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国の経済は、緩やかな回復が続きました。個人消費は、国内旅行の回復等が見られたものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により、持ち直しに足踏みが見られました。企業の設備投資は、製造業を中心にコロナ禍や物価高により先送りしてきた更新投資等を背景に、好調に推移しました。特にIT投資については、金融業や製造業を中心に幅広い業種で投資意欲が高い状態にあり、好調に推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは企業の積極的なIT投資を背景としたSIサービスやITインフラサービスが好調に推移したこと等により、売上高は1,572億26百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

利益については、コンシューマ製品の売上減少に伴う売上総利益の減少やIT費用等の販管費の増加により、営業利益は138億8百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は139億68百万円（前年同期比9.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95億23百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

各報告セグメントの業績は以下のとおりです。増減に関する記載は、前年同期との比較に基づいています。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

コンシューマ

レンズ交換式デジタルカメラについては、前年同期に新製品発売に伴う売上の増加があり、その剥落により、販売台数が減少し、売上は減少しました。

インクジェットプリンターについては、市場の縮小により、売上は減少しました。インクカートリッジについては、プリントボリュームの減少等により、売上は減少しました。

ITプロダクトについては、高性能PCやPC周辺機器の販売が好調に推移したことにより、売上は大幅に増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は301億44百万円（前年同期比7.6%減）となりました。セグメント利益については、売上減少に伴う売上総利益の減少により、20億99百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

エンタープライズ

主要キャノン製品については、複数の大型案件があったことにより、オフィスMFP、レーザープリンターの台数は大幅に増加しました。オフィスMFPの保守サービスについては、オフィスにおけるプリントボリュームが減少したことにより、売上は微減となりました。レーザープリンターカートリッジについては、前年同期に価格改定を見据えた駆け込み需要があり、その剥落により、売上は減少しました。

ITソリューションについては、金融業向け及び流通業向けのSI案件が順調に推移したことやTCS株式会社の連結子会社化等により、売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は590億4百万円（前年同期比8.0%増）となりました。セグメント利益については、売上増加に伴い売上総利益が増加したものの、BPO大型案件剥落に伴う売上総利益率の悪化やTCS株式会社の連結子会社化に伴うのれんの償却費の発生等による販管費の増加により、55億33百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

エリア

主要キヤノン製品については、ペーパーレス化の影響や前年同期の製品供給の回復により、販売台数が大幅に増加した反動で、オフィスMFP、レーザープリンターの台数は減少しました。オフィスMFPの保守サービスについては、オフィスにおけるプリントボリュームが減少したことにより、売上は減少しました。レーザープリンターカートリッジについては、前年同期に価格改定を見据えた駆け込み需要があり、その剥落により、売上は減少しました。

ITソリューションについては、Windows 10の延長サポート終了に伴うビジネスPCの入替が進んだことや中小企業のIT環境をトータルで支援する「まかせてIT DXシリーズ」が順調に推移したことで、売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は597億84百万円（前年同期比0.1%減）となりました。セグメント利益については、高付加価値なITソリューションの売上構成比増加に伴う売上総利益の増加等により、51億97百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

プロフェッショナル

(プロダクションプリンティング)

プロダクションプリンティング事業では、主に印刷業向けに、高速連帳プリンター及び高速カット紙プリンター等を提供しております。また、小売業向けにPOP制作関連のビジネスも提供しております。

当事業の売上は、高速連帳プリンターの案件の増加等により、増加しました。

(産業機器)

産業機器事業では、主に半導体メーカー向けに、製造関連装置及び検査計測装置等を提供しております。

当事業の売上は、半導体製造関連装置が好調に推移したものの、前年同期に検査計測装置等の案件が複数あり、それらの剥落により、減少しました。

(ヘルスケア)

ヘルスケア事業では、主に病院・診療所・調剤薬局・健診施設向けに、電子カルテを中心とした医療情報システム等を提供しております。

当事業の売上は、前年同期にあった診療所向けオンライン資格確認システム案件や調剤薬局向け電子処方箋案件の剥落があったものの、病院向け大型案件の獲得により、大幅に増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は139億54百万円（前年同期比19.0%増）となりました。セグメント利益については、産業機器の売上減少に伴う売上総利益の減少により、17億47百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(注) 各セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高にセグメント間の内部売上高又は振替高を加算したものであります。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想については、株式会社プリマジェストの連結子会社化や当第1四半期の実績を踏まえ、売上を修正しております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、株式会社プリマジェストの連結子会社化に係るのれんの償却費の発生等があるものの、2024年1月29日に公表した連結業績予想から変更はありません。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

通期の連結業績予想数値の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	630,000	54,000	55,000	37,500
今回修正予想 (B)	645,000	54,000	55,000	37,500
増減額 (B - A)	15,000	0	0	0
増減率 (%)	2.4	0.0	0.0	0.0
ご参考 前期実績 (2023年12月期)	609,473	52,495	53,585	36,493

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,190	97,866
受取手形、売掛金及び契約資産	111,649	110,854
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	39,149	38,823
仕掛品	196	393
原材料及び貯蔵品	479	457
短期貸付金	170,005	130,005
その他	7,482	8,587
貸倒引当金	△42	△53
流動資産合計	418,611	388,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,714	47,686
機械装置及び運搬具（純額）	60	64
工具、器具及び備品（純額）	3,029	3,999
レンタル資産（純額）	5,585	5,954
土地	28,359	28,359
リース資産（純額）	3	2
建設仮勘定	271	1,951
有形固定資産合計	85,024	88,018
無形固定資産		
ソフトウェア	5,600	6,701
のれん	4,868	35,513
顧客関連資産	3,408	3,354
施設利用権	302	302
その他	1	1
無形固定資産合計	14,181	45,873
投資その他の資産		
投資有価証券	16,314	16,060
長期貸付金	10	10
退職給付に係る資産	10,987	11,884
繰延税金資産	5,916	6,211
差入保証金	2,559	3,019
その他	3,962	4,614
貸倒引当金	△201	△201
投資その他の資産合計	39,548	41,598
固定資産合計	138,755	175,490
資産合計	557,366	563,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,552	47,657
短期借入金	—	1,100
1年内返済予定の長期借入金	—	219
リース債務	99	128
未払費用	16,585	14,289
未払法人税等	8,233	5,584
未払消費税等	6,712	5,278
賞与引当金	3,222	12,532
役員賞与引当金	107	19
製品保証引当金	269	258
受注損失引当金	51	91
その他	29,755	27,592
流動負債合計	110,590	114,752
固定負債		
長期借入金	—	1,846
リース債務	206	284
永年勤続慰労引当金	723	823
退職給付に係る負債	7,760	7,300
繰延税金負債	178	177
その他	2,397	2,424
固定負債合計	11,266	12,858
負債合計	121,856	127,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	73,303	73,303
資本剰余金	82,727	82,727
利益剰余金	256,880	257,326
自己株式	△2,092	△2,095
株主資本合計	410,817	411,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,860	6,692
繰延ヘッジ損益	87	75
為替換算調整勘定	345	454
退職給付に係る調整累計額	16,610	16,989
その他の包括利益累計額合計	23,903	24,212
新株予約権	58	66
非支配株主持分	729	773
純資産合計	435,509	436,313
負債純資産合計	557,366	563,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	154,825	157,226
売上原価	102,640	105,950
売上総利益	52,184	51,275
販売費及び一般管理費	36,899	37,467
営業利益	15,285	13,808
営業外収益		
受取利息	89	107
受取配当金	27	29
為替差益	13	40
その他	70	73
営業外収益合計	201	251
営業外費用		
支払利息	2	2
投資事業組合運用損	33	21
その他	27	66
営業外費用合計	63	91
経常利益	15,423	13,968
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	32	36
関係会社株式売却損	159	—
その他	—	0
特別損失合計	191	36
税金等調整前四半期純利益	15,232	13,932
法人税等	4,757	4,379
四半期純利益	10,474	9,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,450	9,523

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	10,474	9,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	△167
繰延ヘッジ損益	△13	△11
為替換算調整勘定	△27	125
退職給付に係る調整額	△133	378
その他の包括利益合計	250	325
四半期包括利益	10,724	9,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,699	9,832
非支配株主に係る四半期包括利益	25	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,232	13,932
減価償却費	2,386	2,489
のれん償却額	25	121
顧客関連資産償却額	—	54
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△657	△2,521
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10	1,636
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,026	9,115
受取利息及び受取配当金	△117	△136
支払利息	2	2
有形固定資産除売却損益(△は益)	31	35
関係会社株式売却損益(△は益)	159	—
投資事業組合運用損益(△は益)	33	21
売上債権の増減額(△は増加)	4,342	3,441
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,309	812
仕入債務の増減額(△は減少)	8,391	1,421
その他	△6,010	△9,172
小計	25,530	21,266
利息及び配当金の受取額	114	136
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△7,412	△6,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,229	14,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,867	△2,351
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△260	△529
投資有価証券の取得による支出	△89	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△32,671
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	40,000
事業譲受による支出	△750	—
その他	△471	△549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,437	3,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10	△0
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△6,408	△8,981
非支配株主への配当金の支払額	△22	△25
非支配株主からの払込みによる収入	—	5
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,442	△9,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,368	9,676
現金及び現金同等物の期首残高	84,632	89,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,000	99,366

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	コンシューマ	エンター プライズ	エリア	プロフェッ ショナル				
売上高								
外部顧客への売上高	32,602	51,684	57,075	11,434	2,028	154,825	—	154,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	2,967	2,760	291	1,933	7,957	△7,957	—
計	32,607	54,651	59,835	11,725	3,961	162,783	△7,957	154,825
セグメント利益又は 損失(△)	3,133	5,907	4,722	1,925	△348	15,340	△55	15,285

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益又は損失(△)及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	コンシューマ	エンター プライズ	エリア	プロフェッ ショナル				
売上高								
外部顧客への売上高	30,139	55,413	57,045	13,619	1,008	157,226	—	157,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	3,591	2,738	334	2,076	8,746	△8,746	—
計	30,144	59,004	59,784	13,954	3,085	165,972	△8,746	157,226
セグメント利益又は 損失(△)	2,099	5,533	5,197	1,747	△749	13,828	△19	13,808

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益又は損失(△)及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、「エリア」セグメントの一部販売チャネル組織を「コンシューマ」セグメントに移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。